



学校だより

しいば川

嬉野市立轟小学校 教育目標

みんながつくる みんなの学校

「夢を持ち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成」

第6号 2026(R8).3.17 文責:校長 北村 英



一年間のご支援に心より感謝申し上げます

春の訪れを感じる季節となり、令和7年度も本日修了式を迎えました。保護者の皆様には、この一年間、本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

子どもたちはこの一年間、日々の学習はもちろん、学校行事や様々な体験活動を通して、多くのことを学び、大きく成長してきました。友達と力を合わせて課題に取り組む姿、自分の考えを伝えようと挑戦する姿、そして互いを思いやりながら学校生活を送る姿など、子どもたちの確かな歩みを、私たちは数多く目にしてきました。こうした子どもたちの成長の背景には、家庭での励ましや支えがあったことは言うまでもありません。

学校は、子どもたちの学びと成長を支える場であると同時に、保護者の皆様や地域の方々とともに子どもを育てていく場でもあります。今年度も、行事や教育活動、日々の学校生活の中で、多くの保護者の皆様にご理解とご協力をいただきました。温かいお声かけや見守り、そして学校への励ましのお言葉の一つ一つが、私たち教職員にとって大きな力となりました。子どもたちはこれからも、一人一人がそれぞれの夢や目標に向かって歩んでいきます。その歩みを支えるために、学校としても子どもたちの可能性を信じ、よりよい教育活動を積み重ねていきたいと考えております。

この一年間、本校の教育活動を温かく支えていただきましたことに、改めて深く感謝申し上げます。来年度も引き続き、子どもたちが安心して学び、笑顔で成長していける学校づくりに、教職員一同力を尽くしてまいります。今後とも、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

保護者の皆様のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、子どもたちが新しい年度を希望をもって迎えることができますようお願い、年度末のご挨拶といたします。



第36回 卒業証書授与式



3月13日(金)、本校体育館において第36回卒業証書授与式を挙行し、6年生32名がこの学び舎を巣立っていきました。ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、温かい祝福の拍手に包まれながら、厳かでありながら心温まる式となりました。

卒業証書授与では、担任の呼名に「はい」と力強く応え、卒業生一人一人が堂々とした姿で証書を受け取りました。卒業生の保護者の皆様は、入学した頃の幼さを思い起こすと、心も体もたくましく成長した姿に胸が熱くなられたことと思います。6年間の学校生活の中で、様々なことがありましたが、子どもたちは学習や運動、さまざまな行事を通して多くのことを学び、仲間とともに力を合わせる大切さや、最後まで努力することの意味を身に付けてきました。

「卒業生のお別れの言葉」では、小学校生活の思い出や、共に過ごしてきた友達への思い、そしてこれまで支えてくださった家族や先生方、地域の方々への感謝の気持ちが語られました。体育館いっぱい響いた透き通った歌声からは、仲間との絆の深さと6年間の歩みの重みを感じられ、会場は大きな感動に包まれました。卒業生はこれまで、本校の最高学年として学校生活のさまざまな場面で活躍してきました。委員会活動や縦割り班活動、学校行事などにおいて、下級生を優しく導きながら学校を支えてくれました。その姿は在校生にとって頼もしい存在であり、よき手本でもありました。6年生が作り上げてくれたこの温かな学校の雰囲気は、きっとこれからも在校生へと受け継がれていくことでしょう。

これから卒業生は、それぞれ新しい環境である中学校へと進みます。これまで小学校で学んできたことや仲間との経験を大切にしながら、自分の可能性を信じて様々なことに挑戦してほしいと思います。失敗を恐れず、一步一步前に進み、自分らしい歩みを続けていってくれることを願っています。

これまで6年間、子どもたちの成長を温かく見守り、支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

卒業生の皆さんの前途が、希望に満ちた輝かしいものであることを心から祈っています。



祝 佐賀県教育長表彰「1年ドッジボールラリー」

1年生が、体育の時間などを使って取り組んだ「佐賀県スポーツチャレンジ」のドッジボールラリーで、数ある佐賀県内の1年生の中でなんと1位になりました。佐賀県ナンバーワンです！！記録は96回で、2位となった学校の88回よりもかなり多い記録でした。素晴らしいですね。2月25日、佐賀県教育委員会保健体育課から江口指導主事と島総括コーディネーターが来校していただき、1年生に直接賞状を渡していただきました。佐賀県教育委員会の甲斐教育長様から、保健体育課の江口課長様から立派な賞状をいただきました。副賞として、ボールやスポーツグッズもいただきました。みんな大喜びでした。



3年・1年 大野原小学校とのオンライン学習

2月13日（金）、3年生が国語「道具のうつりかわりを説明しよう」で学習したことを、大野原小学校の3年生とオンラインでつなぎ、それぞれが調べてまとめたことを発表し合いました。本校の3年生は、たんす・炊飯器・キューピー人形について調べたことを発表しました。自分たちが調べたことを画用紙にまとめ、昔と今の道具の違いをていねいに説明していました。発表後の振り返りの場面です。大野原小学校の3年生は、こたつについて調べたことを、スライドにして発表してくれました。3人の子もたちの発表を真剣に聞いていました。今回の交流は、自分たちが決めたテーマについて調べ活動を行うことも重要な目的ですが、調べたことを誰かに発表することも目的となります。その相手と同じ3年生ということで、相手意識をもって発表できたことは大変貴重な経験となりました。



3月4日（水）には、1年生が同じく大野原小学校とオンライン学習を行いました。本校の1年生は、春夏秋冬に分けて、季節ごとの思い出を発表しました。しっかりと練習を積んできたこともあり、相手に伝わるような話し方を意識して、しっかりと発表していました。それを見ていた大野原小学校1年生の2人から思わず「すごい！」と声をあがるほどでした。

校区が隣接する大野原小学校。ごく少数で教育活動が行われきめ細やかな指導ができる反面、多様な子どもたちと接する機会が少ないのが現状です。本校の子どもたちにとっても、自分たちが調べたことや自分の考えを伝える貴重な機会となり、相手意識をもった発表ができるメリットがあります。今後も、大野原小学区とは、こうした交流を続けていきたいと思っています。



2 / 2 5 第3回学校運営委員会

本年度最後の「学校運営協議会」を開催しました。年度末の大変お忙しい中、全委員の皆様にご来校いただきました。冒頭、会長の辻田様よりごあいさつをいただきました。

この日の議題は、前回以降の主な行事、学校評価の最終評価、次年度の教育計画等について、意見交換を行いました。委員の皆様から、たくさんのご意見をいただきました。貴重なご意見は今後の学校運営に反映してまいります。

また、校長からは、令和8年度の学校教育目標（グランドデザイン）をお示ししました。これからの社会を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育むために、学校が果たすべき役割を考えて提案させていただきました。次年度の学校教育目標については、この会で承認をいただくことになっており、短い時間でしたが説明をさせていただき、ご承認をいただきました。委員の皆様、本当に有り難うございました。今後も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

